

## **アドミッションセンター報告書（第2号）の刊行にあたって**

日頃より、教職員の皆様にはジョイントセミナー、オープンキャンパス、入試説明会等、アドミッションセンターの業務にご協力いただき、感謝申し上げます。当センターも発足して3年半がたち、日常の活動もようやく軌道に乗り、このたび、アドミッションセンター報告書（第2号）刊行することができました。重ねてお礼申し上げます。

本センターでは、それぞれの学部の入学試験方法等を改善するための調査・分析を行っております。今年度は入学時における基礎学力の経年変化、オープンキャンパスに関する分析等の基礎的な調査・分析とともに、「文化教育学部の受験生の分析」、「経済学部の入学後の追跡調査」、「理工学部の後期日程に関する高等学校の意向調査」、「農学部の前期日程の理科に関する高等学校の意向調査」、「医学部医学科に関する高校訪問調査」等、それぞれの学部の入試改善に特化した事項の調査・分析等を実施いたしました。それともに本学における学科問題作成の在り方等に関する調査も同時に実施いたしました。これら調査結果および調査結果の分析等を、それぞれの学部の入学試験方法の改善に役立てていただければ、アドミッションセンターとして望外の喜びです。

平成22年度の入試広報および広大連携に関しては、特に、ジョイントセミナーに関して実施方法等の大幅な改善を行いました。これに関しては高校側の評判もまづまづであり、さらに高校・大学の双方向で満足できるよう、改善を図っていきたいと考えております。

また、これまでの3年間の活動を自己評価し、自己評価書として纏めるとともに、外部評価委員による外部評価を行いました。この評価結果等を巻末に記載しておりますが、きわめて高い外部委員の評価を得ることができました。これも教職員の皆様のご協力・ご尽力の賜物と感謝いたします。

来年度から理工学部、兒玉浩明教授を新センター長としてお迎えすることになっております。新しいセンター長のリーダーシップのもと、今後6年間の新たな中期目標・計画の実現に向け、活動を強めていかれるものと確信しております。そのためにも教職員の皆様のなお一層のご協力を重ねてお願ひいたします。

アドミッションセンター長 藤田 修二

## 【目 次】

アドミッションセンター報告書（第2号）の発刊にあたって	1
1. 平成22年度入試志願者動向分析	7
1.1. 国立大学（九州・山口地区）の志願者倍率経年変化	7
1.2. 学部別にみた志願倍率の特徴（前期日程）	8
1.3. 長期的な傾向からみた佐賀大学の志願者動向（九州地区）	8
2. 平成22年度入試における教員養成系学部の志願者動向（文化教育学部）	9
2.1. はじめに	9
2.2. 文化教育学部（学校教育課程）に関する分析	9
2.2.1. 地域別にみる志願者の増減（前期日程）	11
2.2.2. 地域別にみる志願者の増減（後期日程）	11
2.2.3. 佐賀県および福岡県における前期日程の高校別比較（H22年度入試とH21年度入試）	12
2.2.4. 学校教育課程における近年の志願者傾向（前期日程と後期日程）	13
3. 入学後追跡調査および入学辞退者に関する報告書（経済学部）	16
3.1. 経済学部入学者の追跡調査	16
3.1.1. 入試区分別にみる入学者の卒業・在学状況	16
3.1.2. 卒業時における通算GPAと取得単位数（2006年度入学者）	21
3.1.3. 卒業までの成績の変化（2006年度入学者）	23
3.2. 入学辞退に関する分析	25
3.2.1. 入試日程別にみる入学辞退状況	25
3.2.2. 属性別にみる入学辞退状況（性別、現浪、志望順位）	25
3.2.3. 地域別にみる入学辞退状況（性別、設置形態別）	28
3.2.4. どのくらいの入試成績の合格者が辞退しているか（合格順位から分析）	31
4. 後期日程試験に関する報告書（理工学部）	36
4.1. 高校訪問ヒアリング調査から得られた情報	36
4.1.1. 平成22年度高校訪問	36
4.1.2. 調査内容	37
4.1.3. 有効回答が得られた高校	37
4.1.4. 調査結果	38
4.1.4.1. 後期日程に個別試験が課されていないことについて	38
4.1.4.2. 現行制度における各高校での出願に関する指導方針	40
4.1.4.3. 個別試験を課す場合に期待する入試方法	40
4.1.4.4. 学科（科目）試験を課す場合の現実的な出題形式	41
4.1.4.5. 個別試験が課されることで、予想される進路指導および志願者の動きや変化	42
4.2. 平成22年度入試合格者アンケートの分析結果	44
4.2.1. 理工学部後期日程に対して受験生が望む試験形式と配点比率	44
4.2.2. 一般的な後期日程の入試方法に対して望むもの	44
4.2.3. どのように入試方法が改善されれば、さらに受験しやすくなるか（後期日程に限定）	45
4.3. 入学辞退率に関する分析	46
4.3.1. 全体の入学辞退率（後期日程）	46
4.3.2. 属性別にみる入学辞退率（性別、希望学科合格、現浪）	46
4.3.3. 地域別にみる入学辞退率（九州各県とその他の地域）	47
4.3.4. どれくらいの入試成績の合格者が辞退しているのか（学科別）	48
4.4. 他大学の入試制度と近年の実績	49
4.4.1. 宮崎大学（工学部）	49
4.4.2. 北九州市立大学（国際環境工学部）	49

4.4.3.	大分大学（工学部） .....	50
4.4.4.	九州工業大学（工学部、情報工学部） .....	50
4.4.5.	山口大学（理学部〔数理、物理・情報のみ〕、工学部） .....	51
4.4.6.	島根大学（総合理工学部） .....	51
4.4.7.	鳥取大学（工学部） .....	52
<b>5.</b>	<b>前期日程の「理科」に関する報告書（農学部）</b> .....	<b>54</b>
5.1.	高校訪問ヒアリング調査から得られた情報 .....	54
5.1.1.	平成 22 年度高校訪問 .....	54
5.1.2.	調査内容 .....	55
5.1.3.	有効回答が得られた高校 .....	55
5.1.4.	調査結果 .....	56
5.1.4.1.	前期日程に「理科」が課されていないことについて .....	56
5.1.4.2.	「理科」を課す場合の現実的な出題形式 .....	57
5.1.4.3.	「理科」が課されることで、予想される進路指導および志願者の動きや変化 .....	57
5.2.	センター試験における農学部入学者の理科の成績（過去 4 年間） .....	59
5.2.1.	「化学 I」の得点分布（100 点満点） .....	60
5.2.2.	「生物 I」の得点分布（100 点満点） .....	60
5.2.3.	「物理 I」の得点分布（100 点満点） .....	61
5.2.4.	理科の組み合わせパターン（合否判定に使用されたもの）* .....	61
5.3.	他大学の入試制度と近年の実績 .....	62
5.3.1.	宮崎大学（農学部：獣医学科を除く） .....	62
5.3.2.	鹿児島大学（農学部：獣医学科を除く） .....	63
5.3.3.	山口大学（農学部：獣医学科を除く） .....	64
5.3.4.	島根大学（生物資源学部） .....	64
5.3.5.	鳥取大学（農学部：獣医学科を除く） .....	65
5.3.6.	高知大学（農学部） .....	65
5.4.	理科における各科目で学ぶの範囲 .....	66
5.4.1.	化学 I .....	66
5.4.2.	化学 II .....	67
5.4.3.	生物 I .....	69
5.4.4.	生物 II .....	70
5.4.5.	物理 I .....	71
5.4.6.	物理 II .....	73
<b>6.</b>	<b>医学部医学科入試に関する高校訪問調査</b> .....	<b>76</b>
6.1.	はじめに .....	76
6.2.	佐賀県の高等学校から得られた意見 .....	76
6.3.	福岡県の高等学校から得られた意見 .....	84
6.4.	長崎県の高等学校から得られた意見 .....	90
6.5.	大分県の高等学校から得られた意見 .....	95
<b>7.</b>	<b>入学者における基礎学力の経年比較 一センター試験得点の分析一</b> .....	<b>97</b>
7.1.	はじめに .....	97
7.2.	方法 .....	97
7.3.	学部別にみた経年変化 .....	98
7.4.	学科および課程（選修）別にみた経年変化 .....	99
7.5.	センター試験における全国の平均点（参考） .....	102
7.6.	まとめ .....	103
7.7.	分析結果を踏まえた重要なポイント .....	104

<b>8.</b>	<b>学科試験問題作成および取り扱いに関する調査報告</b>	107
<b>9.</b>	<b>平成 22 年度オープンキャンパスに関する分析</b>	111
9.1.	参加者数（過去 6 年間の経年変化）	111
9.2.	オープンキャンパス参加者のアンケート分析	112
9.2.1.	アンケート回収率（概算）	112
9.2.2.	回答者の性別と学年	112
9.2.3.	回答者の参加学部	112
9.2.4.	回答者の参加地域	113
9.2.5.	佐賀大学のオープンキャンパスを知ったきっかけ	113
9.2.6.	誰とオープンキャンパスに参加しているのか	114
9.2.6.1.	学年別にみる参加形態（「割合」は、各学年に占める割合を示す）	114
9.2.7.	オープンキャンパスの参加目的（3つまで選択可能）	115
9.2.7.1.	学年別にみる参加目的（「割合」は、各学年に占める割合を示す）	115
9.2.8.	「九州地区国立大学進学説明会」への参加状況	116
9.2.9.	佐賀大学の情報誌に関して見たことがあるもの	116
9.2.10.	本学オープンキャンパスへ参加した感想	117
9.2.11.	他大学へのオープンキャンパスの参加状況	118
9.2.12.	興味があった企画、企画してほしいもの [学部別]	119
9.2.13.	気づいた点（改善を求める意見のみ抽出）	120
9.2.14.	保護者からの意見	120
<b>10.</b>	<b>『大学入試研究ジャーナル』掲載論文</b>	121
<b>11.</b>	<b>平成 22 年度の入試広報および高大連携活動に関する実績</b>	135
11.1.	各種進学説明会の活動実績	135
11.1.1.	受験産業等が主催する進学説明会への参加実績	135
11.1.2.	高校や予備校等で実施する大学説明会	135
11.1.3.	九州地区国立大学合同説明会	136
11.1.4.	九州地区国立大学進学説明会〔オープンキャンパス〕	136
11.1.5.	高校からの本学への訪問（大学訪問）	137
11.1.6.	高等学校との連絡協議会	137
11.2.	ジョイントセミナー（出張講義）	138
<b>12.</b>	<b>平成 22 年度アドミッションセンター運営委員会</b>	145
<b>13.</b>	<b>アドミッションセンター自己点検評価書</b>	147